



# ヘッドセットサービス

- [ヘッドセットサービスの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ヘッドセットサービス的前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [ヘッドセットサービス管理者の設定タスクフロー \(2 ページ\)](#)
- [ヘッドセットサービスのエンドユーザ関連付けタスクフロー \(7 ページ\)](#)

## ヘッドセットサービスの概要

ヘッドセットサービスを使用すると、Cisco ヘッドセットをサポートされているデバイスに接続して、ヘッドセットベースの Extension Mobility などのシンプルで統合されたユーザエクスペリエンスを将来的に提供できます。

ヘッドセットベースの Extension Mobility は、ヘッドセットサービスで初めて導入された機能です。Extension Mobility 対応デバイスに Cisco ヘッドセットを接続すると、Extension Mobility のログインとログアウトにシームレスなログインエクスペリエンスが提供されます。

ヘッドセットサービスを使用すると、管理者とエンドユーザは、所有デバイス、共有スペース、共有エリアデバイスなどの任意のデバイスからヘッドセットを関連付けることができます。この関連付けは、認証に役立ち、ユーザにカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。この機能は、有線ヘッドセットとワイヤレスヘッドセットの両方をサポートします。

ヘッドセットの関連付けは、ユーザの ID をヘッドセットに割り当てます。ユーザ ID が必要なサービスにログインできます。

この Unified Communications Manager インターフェイスを使用すると、管理者は次のことができます。

- ヘッドセットをシリアル番号とともにエンドユーザに関連付け、関連付け解除します。
- ヘッドセットベースの拡張モビリティを有効にします。
- ヘッドセットへの一括ユーザのインポートとエクスポートの関連付け。



(注) ヘッドセットベースの Extension Mobility ログインは、Extension Mobility Cross Cluster (EMCC) ではサポートされていません。

ヘッドセットベースのエクステンション モビリティ ログインは、モバイルおよびリモートアクセス (MRA) をサポートするデバイスで機能します。互換性のある電話ファームウェアのバージョンは 14.1(1) です。

同じユーザー ID がヘッドセットと電話機の両方を制御している場合、ヘッドセットベースのエクステンション モビリティ ログインは機能しません。

## ヘッドセットサービスの前提条件

- エンドユーザが Unified Communications Manager ですすでに作成されていることを確認します。
- ヘッドセットを使用した Extension Mobility ログインの場合は、ユーザデバイスで Extension Mobility が有効になっていることを確認します。また、ユーザが Extension Mobility のログインまたはログアウトを実行できるように、[**Extension Mobility のサインインとサインアウトを許可する (Allow Headset for Extension Mobility)**] が有効になっています。



(注) ヘッドセットベースの Extension Mobility 機能は、88XX および 78XX シリーズの Cisco IP電話の最新のファームウェアのみをサポートします。

## ヘッドセットサービス管理者の設定タスクフロー

管理者は次のタスクを使用して、ヘッドセットをユーザに関連付け、ヘッドセットベースの Extension Mobility を有効にできます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ユーザへのヘッドセットの関連付け (3 ページ)</a>	シリアル番号をユーザに関連付け、関連付けを解除する方法を指定します。
ステップ 2	<a href="#">エンドユーザヘッドセットの関連付けの管理 (4 ページ)</a>	<b>オプション</b> : エンドユーザがデバイスのヘッドセットアソシエーションを作成できるようにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	ヘッドセットベースの拡張モビリティを有効にする (4 ページ)	Unified Communications Managerからヘッドセットの Extension Mobility を有効にします。
ステップ 4	ピンレス Extension Mobility ログインの有効化 (5 ページ)	ピンレス Extension Mobility ログインを有効にします。
ステップ 5	Extension Mobility ヘッドセットログアウトタイマーの設定 (6 ページ)	ヘッドセットの自動ログアウトタイムアウトを設定します。

## ユーザへのヘッドセットの関連付け

この手順を使用して、ヘッドセットをユーザに関連付けます。

### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、ヘッドセットを関連付ける既存のユーザを選択します。
- ステップ 3 [関連ヘッドセット] セクションで、割り当てるヘッドセットのシリアル番号を入力します。
- ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5 選択したユーザにさらにヘッドセットを関連付ける場合は、[+] をクリックします。

(注) 特定のユーザに最大15個のヘッドセットを関連付けることができます。ヘッドセットのシリアル番号は、個々のヘッドセットごとに固有です。同じヘッドセットを2人のユーザに関連付けることはできません。ヘッドセットの関連付けを別のユーザに移動するには、最初に最初のユーザからヘッドセットの関連付けを解除する必要があります。

特定のヘッドセットのシリアル番号の位置については、そのヘッドセットモデルのヘッドセットのアドミニストレーションガイドを参照してください。

- ステップ 6 (任意) (-) をクリックして、選択したユーザのヘッドセットシリアル番号を関連付け解除します。
- ステップ 7 [詳細の表示 (View Details)] リンクをクリックして、ヘッドセットのインベントリの詳細を表示します。詳細については、「ヘッドセットとアクセサリの管理」の章の「ヘッドセットのインベントリ設定」セクションを参照して、ヘッドセットの詳細を確認してください。

## エンドユーザヘッドセットの関連付けの管理

**オプション：**この手順を使用して、Unified Communication Manager の設定を構成し、エンドユーザがデバイス画面の[ヘッドセットの関連付け]メニューオプションを使用してヘッドセットを関連付けることができるようにします。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)]。

**ステップ 2** [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] セクションで、次のいずれかを選択して、エンドユーザのヘッドセットをデバイスに関連付けます。

- [ユーザにプロンプトを表示 (Prompt user to start Headset Association)] を選択すると、ヘッドセットが初めてデバイスに接続されたときに [ヘッドセットの関連付け (Headset Association)] 画面が表示されます。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
- [ヘッドセットの関連付け (Headset Association)] 画面が Extension Mobility 対応デバイスにのみ表示されるようにするには、[Extension Mobility 対応デバイスからのみヘッドセットの関連付けを開始するようユーザに確認 (Prompt user to start Headset association only from Extension Mobility-enabled devices)] を選択します。
- すべてのデバイスでヘッドセットの関連付け画面を無効にするには、[すべてのデバイスからヘッドセットの関連付けを開始するようユーザに要求しない] を選択します。この設定は、ユーザがデバイスメニューからヘッドセットの関連付けを手動で開始することを妨げません。

(注) 設定の変更は、すでにエンドユーザに関連付けられているヘッドセットには適用されません。

**ステップ 3** 設定の変更を有効にするには、[Save And Apply Config] をクリックします。

**ヒント** 詳細な説明については、[Enterprise Parameter Configuration] ウィンドウでパラメータ名または疑問符 (?) アイコンをクリックします。

## ヘッドセットベースの拡張モビリティを有効にする

ユーザが関連付けられたヘッドセットから Extension Mobility にログインできるようにするには、次の手順を使用します。

### 始める前に

ヘッドセットユーザがヘッドセットを使用して Extension Mobility にログイン、使用、およびログアウトできる Extension Mobility サービスに Cisco IP 電話とデバイスプロファイルを設定して

いることを確認してください。詳細については、[エクステンションモビリティへの登録](#)を参照してください。

#### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)]。
- ステップ 2 [サーバ (Server)] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。
- ステップ 4 [ヘッドセットベースのExtension Mobility (Headset-based Extension Mobility)] フィールドで、次のいずれかを選択して、Extension Mobility ログインに関連付けられたヘッドセットを使用します。
  - [Extension Mobility にヘッドセットを許可 (サインイン/サインアウト)] を選択して、ヘッドセットユーザが Extension Mobility でサインインできるようにします。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
  - Extension Mobility でのヘッドセットユーザのサインインとサインアウトを制限するには、[Extension Mobility のサインインとサインアウトを許可しない (Do not Allow Headset for Extension Mobility)] を選択します。このオプションを選択した場合、エンドユーザはヘッドセットを接続するときに Extension Mobility のログインまたはログアウト画面を表示しません。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

## ピンレス Extension Mobility ログインの有効化

ユーザに関連付けられたヘッドセットを使用したピンレス Extension Mobility ログインには、次の手順を使用します。



(注) この機能は、12.5(1)SU3 以降でサポートされています。

#### 始める前に

[サービスパラメータ設定] > [ヘッドセット接続後の自動ログインタイマー (秒)] フィールドで、システムがユーザー入力を待機してから拡張モビリティプロファイルに自動的にサインインするまでの最大時間を指定します。



(注) 指定された最大期間は、[PIN エントリ (ヘッドセットベースのサインイン)] フィールドが [不要 (Not Required)] に設定されている場合にのみ有効です。

## 手順

ステップ1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)]。

ステップ2 [サーバ (Server)] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。

ステップ3 [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。

ステップ4 [PIN エントリ (ヘッドセットベースのサインイン)] フィールドで、次のいずれかを選択して、ピンレス Extension Mobility ログインを有効または無効にします。

- [必須 (Required)] を選択して、Extension Mobility ログイン用のPINの入力をユーザに求めます。デフォルトでは、このパラメータ値が選択されています。
- [不要 (Not Required)] を選択すると、1 分以内に Extension Mobility に自動的にサインインします。ユーザは、電話UIで PIN の詳細を入力するよう求められません。

**重要** ユーザが設定された時間内に自動的にサインアウトするか、または有線またはワイヤレスヘッドセットを使用して手動でログアウトする場合、ユーザは[キャンセル (Cancel)] をクリックして、指定された期間内の自動サインインを回避することをお勧めします。

ステップ5 [保存 (Save)] をクリックします。

## Extension Mobility ヘッドセットログアウトタイマーの設定

自動ログアウトタイムアウトを設定するには、次の手順を使用します。



- (注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウの[ヘッドセットベースの Extension Mobility (Headset-based Extension Mobility)] サービスパラメータが [Extension Mobility のサインインおよびサインアウトにヘッドセットを許可しない (Do not Allow Headset for Extension Mobility)] に設定されている場合、自動ログアウトタイマー値の設定は無効です。

## 手順

ステップ1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。サービス > サービスパラメータ。

ステップ2 [サーバ (Server)] フィールドで、Cisco Extension Mobility サービスを実行しているノードを選択します。

ステップ3 [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco Extension Mobility] を選択します。

**ステップ4** [ヘッドセット切断後の自動ログアウトタイマー (Auto logout timer after Headset Disconnect) ] フィールドに、ユーザが自動的にログアウトする前にヘッドセットがデバイスから切断されたときにシステムがユーザ入力を待機できる最大期間値を入力します。

(注) デフォルトでは、この値は5分に設定されています。最大値は15分に設定できません。

**ステップ5** [保存 (Save) ] をクリックします。

## ヘッドセットサービスのエンドユーザ関連付けタスクフロー

エンドユーザは、次のタスクを使用してヘッドセットを関連付け、関連付けられた ID を使用して Extension Mobility を使用してログインできます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	ユーザヘッドセットの関連付け (7 ページ)	エンドユーザへのヘッドセットアソシエーションを作成します。
ステップ2	ヘッドセットの関連付けをスキップ (8 ページ)	特定のエンドユーザのヘッドセットの関連付けをスキップできます。
ステップ3	ヘッドセットを使用した Extension Mobility のログイン (9 ページ)	Extension Mobility ログインに関連付けられたヘッドセットを使用するためのカスタマイズされたエクスペリエンスを有効にします。
ステップ4	ヘッドセットを使用した Extension Mobility からのユーザのログアウト (9 ページ)	デフォルトの設定時間内に Extension Mobility からヘッドセットをログアウトするのに役立ちます。

## ユーザヘッドセットの関連付け

この手順を使用して、ヘッドセットとユーザの関連付けします。

### 手順

**ステップ1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。

[IP フォン (IP Phone) ]画面に [ヘッドセットをユーザに関連付ける (Associateヘッドセット) ]ポップアップ画面が表示されます。

デバイスが共有スペースまたは共有エリアにある場合、またはユーザがデバイスに関連付けられている場合、ユーザ名は自動的に入力されます。デバイスが匿名の場合、[ユーザID (User ID) ]フィールドは空白で、エンドユーザはユーザクレデンシャルを提供するヘッドセットを関連付けることができます。

**ステップ2 ユーザー ID と PIN を入力または変更します。** クレデンシャルがわからない場合は、管理者に問い合わせてください。

**ステップ3** [送信 (Submit) ]をクリックします。

正常に関連付けられたヘッドセットメッセージがユーザ名とともに表示されます。

無効なクレデンシャル (ユーザ ID または PIN) を 3 回以上入力すると、Cisco IP 電話にエラーメッセージが表示されます。

ヘッドセットの関連付けに失敗した場合は、ヘッドセットを切断して接続し、有効なクレデンシャルを入力するか、管理者に問い合わせてください。

**ステップ4** (任意) Cisco IP 電話を使用してヘッドセットを手動で関連付けるには、[設定 (Settings) ]> [アクセサリ (Accessories) ]> [Cisco ヘッドセットのセットアップ (Cisco Headset Setup) ]> [ユーザの関連付け (Associate User) ]の順に選択します。

(注) ヘッドセットが切断されている場合、[ユーザの関連付け (Associate User) ]オプションはグレー表示されます。有効にするには、ヘッドセットをデバイスに接続します。

---

## ヘッドセットの関連付けをスキップ

この手順を使用して、ヘッドセットとユーザの関連付けをスキップします。

### 手順

---

**ステップ1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。

**ステップ2** ヘッドセットをユーザに関連付ける前に、[終了 (Exit) ]をクリックします。

**ステップ3** ヘッドセットを関連付けない場合は、[はい (Yes) ]をクリックします。

デバイスへの以降の接続では、ヘッドセットの関連付け画面は表示されません。同じヘッドセットが別のデバイスに接続されている場合は、Cisco IP 電話の画面に [ユーザとヘッドセットの関連付け (Associate Headset to User) ]ポップアップ画面が表示され、関連付けプロセスが表示されます。

---



## ヘッドセットを使用した Extension Mobility のログイン

ユーザが関連付けられているヘッドセットを使用して Extension Mobility でログインするには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ1 ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。
- ステップ2 ヘッドセットが関連付けられていない場合は、次の手順を実行します。
  - a) ユーザにヘッドセットを関連付けるユーザ ID と PIN を入力します。
  - b) [送信 (Submit)] をクリックします。

ログイン画面に成功したメッセージと関連するユーザ ID が表示され、ユーザは Extension Mobility でサインインできます。
  - c) [サインイン (Sign In)] をクリックして、Extension Mobility のログインを完了します。
- ステップ3 ヘッドセットがすでにユーザに関連付けられている場合は、次の手順を実行します。
  - a) Extension Mobility でログインするための PIN を入力します。
  - b) 必要なユーザプロファイルを選択します。
  - c) [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ4 ユーザがすでにデバイスの Extension Mobility にログインしており、別のユーザが以前に関連付けられたヘッドセットを接続すると、ログアウト画面が表示され、以前にログインしたユーザをログアウトできます。
- ステップ5 [はい (Yes)] をクリックして、以前のプロファイルからログアウトします。
- ステップ6 Extension Mobility でログインするための PIN を入力します。
- ステップ7 [送信 (Submit)] をクリックします。

(注) デバイスプロファイルが変更されるたびに電話機がリセットされ、ユーザプロファイルが元のプロファイルに変更されます。

## ヘッドセットを使用した Extension Mobility からのユーザのログアウト

Extension Mobility 対応デバイスからヘッドセットをサインアウトするには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ1 Cisco IP 電話からヘッドセットを取り外します。
- ステップ2 [サインアウト (Sign Out)] をクリックします。

(注) 電話機がリセットされ、デバイスプロファイルが元のデバイスプロファイルに変更されます。

進行中のコール（1対1のコールまたは会議コール）中にヘッドセットを切断すると、コールは終了せず、コールが終了したときにのみ **Extension Mobility** のサインアウトが行われます。

ワイヤレスヘッドセットを手動でログアウトまたは範囲外にした場合、設定した時間内に自動的にサインアウトされます。デフォルトでは、設定時間は5分です。詳細については、[Extension Mobility ヘッドセットログアウトタイマーの設定（6ページ）](#) セクションを参照してください。

**ステップ3** 現在の **Extension Mobility** セッションを保持する場合は、**[キャンセル (Cancel)]** をクリックします。デフォルトの設定時間内に再接続して、ユーザプロファイルを保持し、リセットを回避します。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。